



# 国道401号 博士峠工区中心杭設置式

～博士峠冬期通行止解消に向けて～

トンネルを一本抜けば村が変わる



たくさんの方に  
お集まりいただきました！

ありがとうございます...



実施日：平成26年10月29日（水）

10月29日（水）に昭和村小野川地内で国道401号博士峠工区の中心杭設置式が行われ、事業の早期整備を祈念し、将来できる道路の中心線に中心杭を設置しました。

国道401号博士峠は昭和村と会津美里町を結び、広域的な物流・観光及び救急医療などを担う重要な道路ですが、急カーブや急勾配が続くため、著しく交通上の支障となっていることに加え、冬期間においては雪崩等の危険性のため、通行止となっており、道路交通上の大きな障害となっています。

本事業は、これらの障害を解消し、博士峠の通年通行を可能にすることを目的としています。

お集まりいただいた皆様に  
事業の説明をし、

いよいよ杭打ちです！！



祝「国道401号博士峠工区 中心杭設置式」  
中心杭が設置されました！



ご来賓の方々、本当に  
おかげさまでございました



地元の方々から  
あたたかい豚汁や  
炊き込みご飯が  
振る舞われました！

寒い中、本当に  
お疲れ様でした！

# 事業目的

国道401号は会津若松市を起点とし群馬県沼田市に至る延長220kmの幹線道路であり、沿線の住民の生活を支える路線となっています。

特に、昭和村においては、都市機能が集積する会津若松市へ直結する唯一の幹線道路であり、産業の振興、救急医療施設へのアクセス等において、非常に重要な路線となっています。

しかし、大沼郡会津美里町と大沼郡昭和村の町村境に位置する博士峠部においては、線形不良、急カーブ、急勾配等により、著しく交通の支障となっていることに加えて、冬期間においては雪崩等の危険性のため、通行止めとなっており、道路交通上の大きな障害となっています。

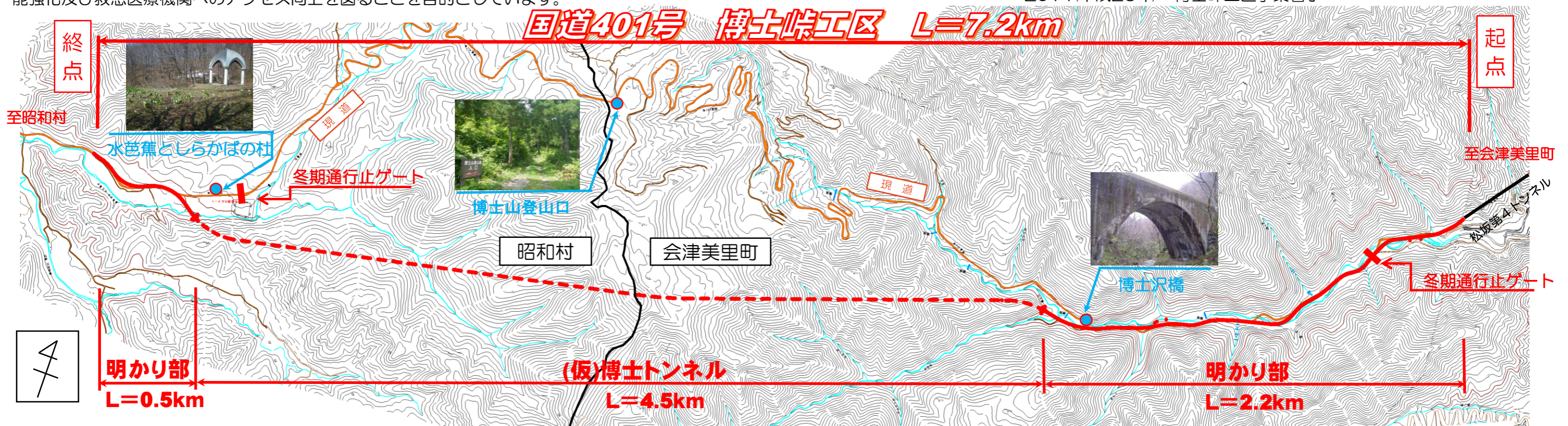
このため、本事業は、博士峠部の道路改良を実施することにより、安全で円滑な交通を確保するとともに、冬期通行止を解消し、昭和村と会津若松市の連絡機能強化及び救急医療機関へのアクセス向上を図ることを目的としています。

# 位置図



# 歴史

- 1896(明治29年)：里道1等博士道路大改修
- 1923(大正12年)：博士道路が県道界(南郷)会津若松線となり整備
- 1971(昭和46年)：博士道路を整備し、県道会津若松伊南線と改称  
全線自動車通行可能となる
- 1975(昭和50年)：県道通過市町村で国道昇格整備促進期成同盟会結成
- 1977(昭和52年)：喰丸トンネル工事着手
- 1978(昭和53年)：橋本バイパス事業着手  
(会津美里町落合橋～松坂4号トンネル区間)
- 1981(昭和56年)：喰丸トンネル供用開始
- 1993(平成5年)：国道401号に認定
- 1995(平成7年)：橋本バイパス全線供用開始
- 2014(平成26年)：博士峠工区事業着手



※この記事に関するお問い合わせ先  
会津若松建建設事務所 道路課 TEL)0242-29-5431